

3-3. 平面計画

平面計画の基本方針

■既存建物を活かした教育環境の構築

増築建物を既存建物に沿う形で配置します。既存建物を活かしながら9年間通う義務教育学校にふさわしい教育環境を構築します。

■光のプロムナードと5つの縦動線

既存建物と増築建物との間に奥行きのある平面に自然光を取り入れる「光のプロムナード」を設置します。5つの縦動線と共に分かりやすく使いやすい骨格を作ります。

■小中9年間の成長を支える教室配置

将来的な学年区切りの変更や学年区切りに応じたゾーニングを行えるよう教室を一定程度まとめて配置することで、子どもの成長に合わせ、それぞれの教育環境を作ります。
学年毎に教室+ワークスペース(WS)の構成とし多様化する授業形態に対応できる計画とします。

1階平面計画

- 1階は1~4年生の教室や特別支援学級その他、図書室、アリーナ、武道場、学童保育の共用機能をまとめて配置します。
- 普通教室は既存校舎南側に配置します。普通教室とWSやプレイルームを隣接させ、廊下を含めた一体的な利用を図ります。
- 中央の「光のプロムナード」は昇降口から続く主要な動線となります。多目的スペース等の様々な空間が隣接し子供たちの居場所となるように計画します。
- 既存屋体棟東側に武道場を配置しサブアリーナとして連携しやすい配置とします。
- 学童保育は放課後利用しやすい昇降口付近にまとめて配置します。管理区分を明確にしつつ活動を内外で感じられる計画とします。
- 敷地東側に図書室をまとめ子ども達が登下校時に利用しやすい配置とします。エントランス広場に面する事で地域開放にも対応します。
- 給食室は水廻りが多くダクトスペース確保のため階高が高くなるため1階東側にまとめて配置しバックヤードからの搬出入に配慮します。



1階平面図 S=1:500

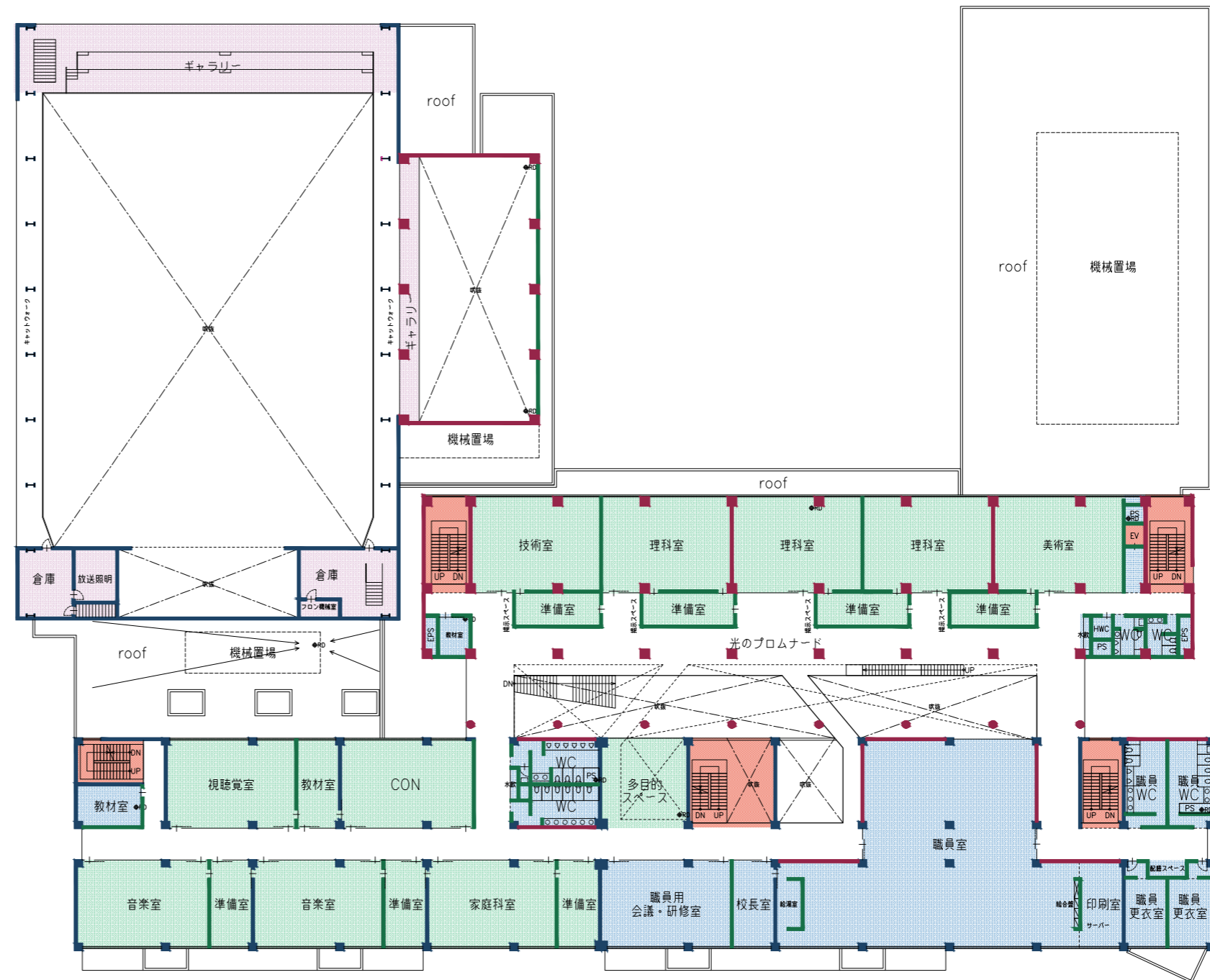


3-3. 平面計画

2階平面計画

2階平面図 S=1:500

- 2階は特別教室と管理諸室をまとめ、1階や3階から児童生徒が利用しやすい配置とします。
- 吹抜を中心にループ動線を設けそれぞれのエリアや階段から各室に行きやすい計画とします。
- 吹抜付近に光のプロムナードを設け、特別教室WSとして機能する他、子ども達の居場所となる場所を作ります。
- 理科室は3室まとめて配置し物品の共用に配慮します。
- 音楽室は岩内協会病院への発生音に配慮して西側に配置します。2室で準備室を共用し物品管理を容易にします。
- 視聴覚室とコンピューター室を隣接させ準備室を共用します。
- 武道場2階を利用してギャラリーを拡張します。



3-3. 平面計画

3階平面計画

3階平面図 S=1:500

- ・3階は5～9年生の教室、特別支援学級をまとめて配置します。
- ・吹抜を中心にループ動線を設け縦動線やそれぞれのエリアに行きやすい計画とします。
- ・「光のプロムナード」に多目的スペースを隣接させ個別学習や放課後学習等の利用がしやすい児童生徒の居場所を作ります。
- ・5～7年生は既存棟に配置し、普通教室とWSを南向きに設けます。
- ・特別支援教室は南東側に配置します。
- ・8～9年生は北面に配置します。
「光のプロムナード」からの2面採光を行い明るい教育環境をつくれます。

